

株式会社鳴浜リース

リース業／東京都



代表取締役社長 川津 秀一郎 (かわつ しゅういちろう)

Profile

1973年11月生まれ。47歳。武蔵大学経済学部卒業後、大手ゼネコン勤務を経て、2004年弊社へ入社、本社営業部に配属。2009年埼玉支店長、2020年代表取締役社長に就任。趣味は剣道・ウエイトトレーニング・登山。好きな言葉は虎視眈々。

TSR：企業コード 29-085589-6 所在地：〒170-0013 東京都豊島区東池袋4-39-1 ナルハマビル
TEL：03-3987-5311 URL：https://www.naruhama.co.jp
事業内容：建設機械・仮設機材レンタル、販売、修理を行う

働く上で1番大切にしていることは？

正義感です。これがあるか無いかを行動規範にしています。

御社のNo.1は？

一拠点にあらゆる商材を集約することで、事業の効率性を追求し続けています。

新人時代の御自身に一言

「まさに一刻千金、一日一時を大切にしてください」と、伝えたいです。

巨大機材ヤードで一括管理 建機・仮設機材レンタル商社

工事に関する機材がすべて揃う

弊社の歴史は、1969年に私の父が板橋区大山にて発電機のレンタル会社を興したことから始まり、その後本社を豊島区東池袋に移転し、事業を拡大させてまいりました。扱う商材も、発電機からそれを移送するトラック、工事現場で必要なショベルカー、足場、保安機材と年々増え続け、今では機材750種、保有台数2~3万台と工事に関するものがすべて揃うラインナップを誇っています。

弊社創業翌年の1970年に朝霞サービスセンターを開設し、2014年には埼玉支店（朝霞市）の隣地に2,830㎡を取得。現在では首都圏最大級の機材ヤードを持つ建機・仮設機材レンタル商社として、土木・建設業界のお客様から多大な信頼をいただいています。

業績も順調に推移し、昨年創業50周年を迎えました。コロナ禍による影響を多少受けながらも支出をコントロールし、安定した経営を続けています。近年、売上の35%を占めるのが、改修と解体工事に関する案件で、この分野はさらに市場拡大が見込めると期待しています。

目指すは労働生産性日本一

競合には大手企業もいる厳しい競争の中で、弊社が着実に成長してこられた理由に「レンタル商材の一括管理」があります。お客様は、弊社の機材ヤードに足を運んでいただければ、工事に必要なものが一通り調達でき、翌日には工事現場で使うことも可能です。工事に関するすべてのものを1か所に集約することで、



弊社では、埼玉県朝霞市に約3,000坪の機材ヤードを有し、様々な資機材を一括管理しています。「工事現場に必要なものがまとめて揃う」と、お客様からも好評をいただいています。

お客様にとっても弊社営業にとっても、仕事の生産性がアップ。高収益の体制が整い、経営の安定化が実現しました。そして、支えとなっているのが、都心へのレスポンスの良さです。工事関連アイテムを受注後、即搬入することができる商社は他にはないと自負しています。商品の構成については、私が選定を担当し、レンタルの頻度など稼働率を見ながら購入しています。レンタルされやすい定番商品だけでなく、特殊な建機等も揃えることで、独自性もアピールしています。

弊社が目指すのは「労働生産性日本一」の会社。営業活動の効率化と即納期に注力することで社員一人ひとりの生産性を高めています。

社員を思って長期休暇を実施

私は福利厚生についても、社員が本心に求めているものは何なのかを考えた

結果、一人ひとりが自分の人生を充実させられる時間、つまり長期休暇であると結論を出し、実現しました。そこで、弊社ではGW、夏季、冬季などは全社員が8~10日の長期休暇をとることを推奨。しっかり英気を養って、元氣よく職場に戻ってきてもらいたいと考えています。

また、入社後のミスマッチを防ぐために1週間の体験入社を実施しています。実際の現場や社内の隅々まで見てもらい、自らに適性があるのか、やりがいを感じられるのかなどを見極め、長く働きたいと入ってきてくれることを望んでいます。

弊社が貫く「業務の集約と効率化」の先には、いつもお客様の笑顔があります。誰かに喜んでもらうことが好きな方、事業を通して社会に貢献したい方、ぜひ弊社の門戸をたたいてください。